

【事業報告】

平成24年度“ひがししらかわ”医療人育成・ふれあい支援事業

「“ひがししらかわ”体験実習」の開催について（第1報）

7月13日（金）と7月20日（金）の両日、“ひがししらかわ”体験実習として、福島県立医科大学医学部 衛生学・予防医学講座「家庭健康管理テュートリアル」実習を選択した医学部4年生20名が参加し、東白川郡棚倉町の生活を地域住民とのふれあいを通して学ぶことができる体験型実習を実施しました。医学部生2名1組が棚倉町内10家庭を訪問し、健康問題等を課題とした意見交換を行いました。今後9月に再度家庭訪問を行い、10月には地区交流会を予定しています。

この事業は今年度より【ひがししらかわ“健康な絆づくり”交流事業】として福島県県南保健福祉事務所が主催し、医師育成教育の時期から、地域医療に関心を持つよう働きかけをすることで、将来、福島県内で働く医師確保を推進するために行っています。

（協力機関：福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座、棚倉町健康福祉課）



主催：福島県県南保健福祉事務所
福島県県南地方振興局

【事業報告】

平成24年度“ひがししらかわ”医療人育成・ふれあい支援事業

「“ひがししらかわ”体験実習」の開催について（第2報）

9月28日（金）、「ひがししらかわ」体験実習として、福島県立医科大学医学部 衛生学・予防医学講座「家庭健康管理テュートリアル」実習を選択した医学部4年生20名が参加し、東白川郡棚倉町の生活を地域住民とのふれあいを通して学ぶことができる体験型実習（第3回目）を実施しました。医学部生2名1組が棚倉町内10家庭を訪問し、健康問題等を課題とした意見交換を行いました。この実習は7月に2回実施し、10月5日には地区交流会を予定しています。

この事業は今年度より【ひがししらかわ“健康な絆づくり”交流事業】として福島県県南保健福祉事務所が主催し、医師育成教育の時期から、地域医療に関心を持つよう働きかけをすることで、将来、福島県内で働く医師確保を推進するために行っています。

（協力機関：福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座、棚倉町健康福祉課）



主催：福島県県南保健福祉事務所
福島県県南地方振興局

【事業報告】

平成24年度“ひがししらかわ”医療人育成・ふれあい支援事業

「“ひがししらかわ”体験実習」の開催について（第3報）

10月5日（金）、「ひがししらかわ」体験実習として、福島県立医科大学医学部 衛生学・予防医学講座「家庭健康管理テュートリアル」実習を選択した医学部4年生20名が参加し、東白川郡棚倉町の生活を地域住民とのふれあいを通して学ぶことができる体験型実習のまとめとして地区交流会を実施しました。

実習先である棚倉町内10家庭の方々（クライアント）を棚倉町保健福祉センターに招き、実習担当者である福島哲仁教授（同講座）の挨拶の後、医学生が実習を通して学んだことやクライアントが各自抱えている健康課題についての意見交換等を行いました。その後、健康アドバイザーの熊谷智広講師（同講座）の指導の下、医学生がクライアントの血圧測定を担当し、さらに交流を深めました。

この事業は今年度より【ひがししらかわ“健康な絆づくり”交流事業】として福島県県南保健福祉事務所が主催し、医師育成教育の時期から、地域医療に関心を持つよう働きかけをすることで、将来、福島県内で働く医師確保を推進するために行っています。

（協力機関：福島県立医科大学医学部 衛生学・予防医学講座、棚倉町健康福祉課）



主催：福島県県南保健福祉事務所
福島県県南地方振興局